

まちづくりの目標

# 4 生活の基盤づくり

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

- ▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。
- ▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障害のある人など、すべての人が安心して生活することのできる環境の整備に努めます。
- ▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。
- ▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家などについては、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。



3月20日、いまりんバスの新車両が運行開始



地域が運営を行うコミュニティバス

●コミュニティバス等運行事業

2577万円

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。また、民間バス会社の廃止路線の代替として、デマンドタクシーの運行をタクシー会社に委託するとともに、武雄・桃川間のコミュニティバスを武雄市と共同で運行します。

財源 繰入金2570万円 市7万円

▼まちづくり課

●バス交通支援事業

9428万円

地域の交通手段として、バスの運行を確保するため、不採算バス路線の維持や地域が運営を行うコミュニティバスの運行に要する経費を補助します。

財源 繰入金9420万円 市8万円

▼まちづくり課

●道路管理事業（単独）

7311万円

老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県1252万円 市債920万円 市5139万円

▼道路河川課

●橋りよう管理事業（補助）

6808万円

道路更新防災等対策事業費補助金を活用して、『伊万里市橋梁長寿命化修繕計画』に基づいて、老朽化している橋りようを補修します。

財源 国3693万円 市債3020万円 市95万円

▼道路河川課

●都市計画総務事業（景観計画策定、都市計画道路見直し【新】）

700万円

地域の特性を生かした良好な景観の形成を促進するため、景観計画策定委員会を設置し、景観区域や当該区域における行為の制限などを定める『景観計画』を策定します。また、未整備の都市計画道路を見直すため、調査や検討を行います。

財源 県200万円 市500万円

▼都市政策課

●市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）

4193万円

社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している市営住宅を改修します。

財源 国2037万円 市債2070万円 諸収入2万円 市84万円

▼施設営繕課